「羅針盤」vol.13

校長　白岩博明

若葉が萌え、花が咲き、鳥たちが歌い舞う、生命が輝く季節の到来となりました。

ただいま中学校53名、高等学校272名の入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

保護者のみなさま、高いところからではございますが、ご子女のご入学、誠におめでとうございます。新制服を身にまとったご子女の姿に、成長の早さを感じながら、これから始まる新しい生活に向けて、心からエールを送っておられることと存じます。

また、ご来賓のみなさま、本日はご多用の中をご臨席いただきまして誠にありがとうございます。衷心より感謝申し上げます。

平成最後の年、新元号・令和元年となる記念すべき本年、本校は、伝統ある鈴峯女子中学校・高等学校から、新鋭の共学校、広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校へと校名を改称し、新たな教育、学校づくりに挑むことになりました。時代の潮流に抗うことなく、地球的な視野で考え、地域社会と協創する人、すなわち、グローカル・イノベーション・リーダーを育む教育を展開してまいります。みなさんは、その1期生となります。真っ白なページに、力強く想いのこもった新たなストーリーを描いていきましょう。

さて、修大協創中高がさまざまな教育活動を展開していく一つに、「国際理解教育」があります。その一端を担うプログラムには、海外の中学校・高校などとの協定を結ぶことは必須であることから、広島修道大学のお力添えをいただきました。3月末、アメリカ・ポートランド市のパシフィック・インターナショナル・アカデミー校と協定校、韓国大邱広域市の啓聖中学校と姉妹校、そして、現在、オンライン英語学習や語学研修などで注目されているフィリピン・セブにあるサンホセ・レコレトス大学附属中高と協定校、それぞれ締結いたしました。

大邱とセブには直接赴いて調印式を行ってきましたが、とりわけセブへの訪問は、心揺さぶられるものがありました。貧富の差や格差の様相を抱える発展途上の国ですが、活気に満ち溢れる街の様子に度肝を抜かれました。中高で学ぶ生徒たちは、大きな夢や目標を果たそうとする目の輝きを放っていました。今後、近代化に向けて、セブの街は、人の生活はどんな変化を遂げるのでしょうか。是非ともみなさんの目で確かめて欲しいのです。その体験は、まさしく、地球的な視野で考えるための貴重なヒントに繋がることになるでしょう。来年から交流活動を始めます。出向いてみましょう、行動を起こしてみましょう、英語力を高め、世界を見てみましょう。

そんなチャンスを本校では数多く準備しています。しかし、そのチャンスを生かすのはあくまでも自分の想い次第です。

ところで、私がこれまで関わった数多くの生徒の一人に、昨春、大学を卒業してある企業に就職した人がいます。小学校の頃から失敗を恐れずに何でもチャレンジする子どもでしたが、未だにその良き習慣は抜けていないようで、依頼されたある冊子に「これからどんな自分に出会えるのか、楽しみで仕方がありません」と記載されていました。「自分が楽しみでしかたがない」、そう思える彼をとてつもなく誇りに思えます。

本校では、探究型学力・協創する力・社会参画する力・自己実現する力の“4つの力”を身につけるためのプログラムをはじめ、広島修道大学とのコラボレーションによるプログラムを通じて、みなさんの経験や学びを高めるチャンスに満ち溢れています。

人生は一度きりです。人生の主人公は自分自身です。後悔しないため、自己実現のため、幸せをつかむために、この修大協創で多くのヒントやアドバイスの中からきっかけをつかみ、自分を育んでいきましょう。

最後になりましたが、保護者のみなさま、ご子女の成長は家庭教育と学校教育の両輪があってこそです。しかも、同方向で同回転でなくてはなりません。ご子女の成長を支えるため、ともに手を携えることができれば幸いです。

我々教職員は、「凡事徹底、進取果敢。」を行動指針、協創スタンダードとして、ご子女の成長のために万全を尽くすことをお約束し、式辞といたします。

2019年4月8日